

7月の図書館だより

No. 471 [2023 (令和5) 年7月号]

草津市立図書館

草津市立南草津図書館


☎ 077-565-1818

☎ 077-567-0373

FAX 077-565-0903

FAX 077-567-2357

日	月	火	水	木	金	土	= TOPICS =
						1	★児童コーナーリニューアル除幕式 &定番絵本読み聞かせ 新しくなった児童コーナーをお披露目します！ 定番絵本の読み聞かせもしますので、親子で遊 びに来てください！ 日時 9日(日) 11時～ 会場 草津市立図書館 絵本コーナー
2	3 南館休	4 本館休	5	6	7	8 H① M①	
9 ★	10 南館休	11 本館休	12	13 H②	14	15	本館40周年記念 さいとうしのぶさん ワークショップ&絵本ライブ 日時 8月6日(日) ①ワークショップ 10時30分～12時 ②絵本ライブ 14時30分～15時30分 会場 草津市立図書館(本館) 3階 大会議室 申込 6月29日(木) 10時より草津市立図書館 および南草津図書館で窓口、FAX、電子申請シス テムで受付。詳細は図書館HPをご覧ください。
16 H③	17 両館休	18 本館休	19	20	21	22 H④ M②	
23	24 南館休	25 本館休	26 両館休	27 M③	28	29	
30	31 南館休						
開館日 ●本館 水～月曜日 午前10時～午後6時 ○南館 火～日曜日 午前10時～午後8時 休館日 ●本館 火曜日 ○南館 月曜日 ●○両館 祝日、月末水曜日、特別整理期間、 年末年始 [12月28日～1月4日]							

= EVENTS =	
●草津市立図書館 (本館) ... H	○草津市立南草津図書館 (南館) ... M
H①: こどものつどい (キッズデー) 日時 8日(土) 14時30分～15時15分 会場 3階 大会議室 対象 幼児～小学校中学年 定員 50名程度 (当日先着受付) 内容 草津おはなし研究会によるパネルシアターなど	M①: こどものつどい (キッズデー) 日時 8日(土) 11時～11時45分 会場 市民交流プラザ 音楽室 対象 幼児～小学校中学年 定員 10組程度 (当日先着受付) 内容 草津おはなし研究会によるパネルシアターなど
H②: 木曜おはなしのじかん (キッズデー) 日時 13日(木) 11時～11時30分 会場 2階 会議室2 対象 乳幼児と保護者の方 定員 10組程度 (当日先着受付) 内容 手遊び、絵本の開き読みなど	M②: おはなしのじかん 日時 22日(土) 14時30分～15時 会場 南草津図書館 絵本コーナー 対象 幼児 内容 絵本の開き読みなど
H③: 図書館ビブリオバトル 日時 16日(日) 14時～15時 会場 2階 会議室2 内容 本の紹介コミュニケーションゲーム 備考 発表者、観覧者ともに事前申込要 申込 6月14日(水)から (申し込みはコチラ) 	M③: 木曜おはなしのじかん (キッズデー) 日時 27日(木) 11時～11時30分 会場 南草津図書館 絵本コーナー 対象 乳幼児と保護者の方 内容 手遊び、絵本の開き読みなど
H④: おはなしのじかん 日時 22日(土) 14時30分～15時 会場 絵本コーナー 対象 幼児 内容 絵本の開き読みなど	・司書のおすすめ本紹介中！ 草津市のFacebook、広報くさつ、図書館のホームペ ージでも定期的に司書がおすすめする本を紹介し ています。何を读もうか迷った時にぜひ一度見てみ てくださいね。

新着図書紹介 2023年 7月

- ・お読みになりたい本がありましたら、ご予約ください。(返却期限の過ぎた本をお持ちの方は、返却を済ませてから、ご予約ください。)
- ・紹介していない本でも、ご予約いただけます。(電話でも結構です。それぞれご利用になる館に直接連絡してください。)

No.	記号	書名	著者名	No.	記号	書名	著者名	No.	記号	書名	著者名
1	002.7	ちゃんと「読む」ための本	奥野 宣之／著	41	519	入門環境経済学	有村 俊秀／著	81	910.26 キ	BOOKSのんべえ	木村 衣有子／著
2	007.37	裏社会のスマホ活用術	裏社会のスマホ研究会／著	42	509.21	なぜこの技術・製品が選ばれるのか?	日刊工業新聞特別取材班／編	82	910.268 ミ	三島由紀夫が復活する	小室 直樹／著
3	007.6	縁の下のUIデザイン	池田 拓司／著	43	525.18	最高の建物と街を描く技術		83	913.6 ア	物語の種	有川 ひろ／著
4	014.61	図書館資料の保存と修理	眞野 節雄／著	44	538.9	#趣味で作る人工衛星	リーマンサット・プロジェクト／著	84	913.6 イ	カンヴァスの恋人たち	一色 さゆり／著
5	019.04	読書の日記	阿久津 隆／著	45	549.8	半導体超進化論	黒田 忠広／著	85	913.6 イ	花ざかりを待たず	乾 ルカ／著
6	070.21	「マスゴミ」って言うな!	斎藤 貴男／著	46	588.32	山の上のパン屋に人が集まるわけ	平田 はる香／著	86	913.6 オ	家康と甲賀忍者・大原一族	太伴原 甲賀／著
7	151.6	実践!ウェルビーイング診断	前野 隆司／著	47	593.8	おとなの浴衣、はじめます	山崎 陽子／著	87	913.6 オ	巴里の雨はやさし	小川 征也／著
8	159.7	ほどよく忘れて生きていく	藤井 英子／著	48	594	フェルトで楽しむお店屋さんごっこ		88	913.6 オ	コメンテーター	奥田 英朗／著
9	185	お寺の行動経済学	中島 隆信／著	49	596.04	ロッパ食談	古川 緑波／著	89	913.6 ク	少年籠城	櫛木 理宇／著
10	210.7	日本人「慰安婦」を忘れない	吉川 春子／著	50	596.3	ちょこつとから楽しむはじめての梅仕事	榎本 美沙／著	90	913.6 ケ	赤泥棒	献鹿 狸太郎／著
11	213.702	石ころの鍛冶屋さん	田代 昭夫／著	51	593.8	着物の着付けと帯結び	赤平 幸枝／監修	91	913.6 コ	薩長と最後まで戦った男	幸田 進／著
12	230.51	ルネサンス文化講義	澤井 繁男／著	52	596	発酵×菜膳	大竹 宗久／著	92	913.6 サ	華ざかりの三重奏	坂井 希久子／著
13	289.1 マ	「好き」を貫く牧野富太郎の言葉	「言葉と植物」編集班／編	53	596.37	たまさんの食べられる庭	中川 たま／著	93	913.6 シ	そしてあなたも騙される	志駕 晃／著
14	289.3 E	英国女王が伝授する70歳からの品格	多賀 幹子／著	54	596.65	梅と杏のお菓子づくり	今井 ようこ／著	94	913.6 タ	少年とリング屋	TAJIRI／著
15	290.9	人間がいなくなった後の自然	カル・フリン／著	55	596.7	森のカフェと緑のレストラン		95	913.6 チ	ヨモツイクサ	知念 実希人／著
16	302.4	アフリカを学ぶ人のために	松田 素二／編	56	611.021	人口減少時代の農業と食	窪田 新之助／著	96	913.6 ナ	能面検事の死闘	中山 七里／著
17	302.53	日本が好きだから言わせてもらいます	ジェイソン・モーガン／著	57	620	植物との暮らし方超入門	ピリ／著	97	913.6 ヒ	危険なふたり	樋口 卓治／著
18	311	教室を生きのびる政治学	岡田 憲治／著	58	626	子どもと一緒に覚えたい野菜の名前	稲垣 栄洋／監修	98	913.6 マ	口訳古事記	町田 康／著
19	317	事務次官という謎	岸 宣仁／著	59	626.9	ちいさな「農」のある暮らし		99	913.6 ミ	猫と笑いに銀河	宮沢 賢治／[著]
20	319.1022	日本が消失する	ケント・ギルバート／著	60	627	心華やぐ美しい花図鑑		100	913.6 モ	ロールキャベツ	森沢 明夫／著
21	326.922	中国拘束2279日	鈴木 英司／著	61	645.9	動物がくれる力	大塚 敦子／著	101	913.6 ヨ	メロスの翼	横関 大／著
22	332.107	データで見る日本経済の現在地	明石 順平／著	62	653.2	まっすぐだけが生き方じゃない	リズ・マーヴィン／文	102	914 サ	日本エッセイ小史	酒井 順子／著
23	336.3	女性管理職が悩んだ時に読む本	いくみ@女性管理職&プログラマー／著	63	675	「欲しい!」はこうしてつくられる	マツ・ジョンソン／著	103	914.6 ア	じゃむパンの日	赤染 晶子／著
24	366.38	子育ても、キャリア育ても	大谷 順子／編著	64	681.3	最新交通事故の法律と手続き	森 公任／監修	104	914.6 イ	新・地図のない旅 1	五木 寛之／著
25	369.26	おひとりさまの逆襲	上野 千鶴子／著	65	723.359	ゴッホのプロヴァンス便り	マーティン・ベイリー／著	105	914.6 E	フランスの街の夜	遠藤 周作／著
26	371.41	脳はどのように学ぶのか	乾 信之／著	66	726.6	ハムスター助六の日常	GOTTE／著	106	914.6 タ	青の国、うたの国	俵 万智／著
27	372.107	戦後教育史	小国 喜弘／著	67	753.2162	忘れられた祭り京都染織祭	北野 裕子／著	107	914.6 ヨ	老いてはネコに従え	養老 孟司／著
28	372.107	「低学歴国」ニッポン	日本経済新聞社／編	68	754.9	nanahoshiの季節を楽しむ歳時記おりがみ	たかはし なな／著	108	916 イ	聴こえない母に訊きにいく	五十嵐 大／著
29	376.87	体育学部・スポーツ科学部	山下 久猛／著	69	763	楽器の科学	フランソワ・デュボワ／著	109	916 オ	カレン民族解放軍	沖本 樹典／著
30	379.9	「発達障害」と間違われる子どもたち	成田 奈緒子／著	70	767.8	昭和歌謡と人文学の季節	井口 貢／著	110	916 マ	しにたい気持ちが消えるまで	豆塚 エリ／著
31	392.1075	太平洋戦争史に学ぶ日本人の戦い方	藤井 非三四／著	71	778.04	映画を早送りで見ると人々	稲田 豊史／著	111	918 ホ	本草奇説	福井 栄一／編・現代語訳
32	392.1076	日本は本当に戦争に備えるのですか?	岡野 八代／著	72	778.21	小津安二郎と七人の監督	貴田 庄／著	112	923.7 ヨ	台湾漫遊鉄道のふたり	楊 双子／著
33	404	人生を豊かにする科学的な考えかた	ジム・アル=カリーリ／著	73	779.13	落語に学ぶ老いのヒント	稲田 和浩／著	113	930.278 ニ	森の赤鬼	北沢 彰利／著
34	442.7	アンドロメダ銀河かんたん映像化マニュアル	JUNZO／著	74	780.7	スポーツ毒親	島沢 優子／著	114	933.7 テ	アガサ・クリスティー失踪事件	ニーナ・デ・グラモン／著
35	479.995	ヨモギハンドブック	山下 智道／著	75	801.03	優しいコミュニケーション	村田 和代／著	115	933.7 ヒ	最後の語り部	ドナ・パーバ・ヒグエラ／著
36	491.371	まちがえる脳	櫻井 芳雄／著	76	824.4	366日の中国名句辞典	三省堂編修所／編	116	936 レ	キツネとわたし	キャサリン・レイヴン／著
37	491.373	自律神経の科学	鈴木 郁子／著	77	837.5	英文読解を極める	北村 一真／著	117	949.83 マ	スウェーディッシュ・ブーツ	ヘニング・マンケル／著
38	498.34	日本人の呼吸術	中村 明一／著	78	810.4	NHKが悩む日本語	NHK放送文化研究所／著	118	969.3 ア	過去を売る男	ジョゼ・エドゥアルド・アグアルーザ／著
39	498.583	9割が間違っている「たんぱく質」の摂り方	金津 里佳／著	79	820	ゼロからレッスン中国語超入門ブック	王 婷婷／著	119	973 コ	狼の幸せ	パオロ・コニエッティ／著
40	498.6	「武漢日記」が消された日	マイケル・ベリー／著	80	854	新ゼロからスタートフランス語単語	鈴木 文恵／著	120	989.85 フ	少女ダダの日記	ヴァンダ・プシフィスカ／[著]

- 草津市立図書館トップページ(PC用): <http://www.city.kusatsu.shiga.jp/toshokan/>
- パソコンからの蔵書検索・利用照会ページ: <https://www.lics-saas.nexs-service.jp/kusatsu/webopac/index.do>



- 図書館からの予約連絡用メールアドレス: kusatsu_library@info-a.lics-saas.nexs-service.jp
(送信専用です。返信されてもお答えできません。)

今月の新刊から



『英国の幽霊城ミステリー』
織守 きょうや／文
山田 佳世子／イラスト
(エクスマレッジ)

388. 33 【本館所蔵】

本書はロンドン生まれの小説家である著者が、建築雑誌で連載した、幽霊城についてのエッセイをまとめたものです。

イギリスに残る古城には、必ずと言っていいほど幽霊譚が伝わっています。同じ幽霊が複数の城に出ることもあり、16世紀の王妃、アン・ブーリンの幽霊は、ハンプトン・コート宮殿やロンドン塔で目撃されています。また、王室の公邸でもあるウィンザー城には、25人の歴代の王や王妃の幽霊が出ると言われ、昨年逝去したエリザベス女王が母親の幽霊を見たとの話もあります。その城に幽霊が出るとされる理由や背景を紐解いていくと、イギリスの歴史や王室の秘密につながります。

イギリスの人々にとって、歴史ある古城に出る幽霊は、多くの人々に敬愛される、偉大なる先人という側面もあるようです。幽霊の人となりを知ることで、城や王室の知られざる謎にせまることができるかもしれません。(本館 小川)

本書は、体力も能力も感性もほぼ同じ双子姉妹が、それぞれ違った職業と視点で、ユキヒョウの保全活動に取り組む、10年の月日をかけて共に成長していった冒険記です。「ユキヒョウ」とは、ロシア・中央アジアから南アジアにかけての12か国に生息し、世界で一番高いところにくらすネコ科動物で、絶滅の危機に瀕しているそうです。

足を踏み入れるのも困難なモンゴル、インド、ネパール、キルギスの高山のユキヒョウ生息地に動物研究者の双子の姉・こづえと、コピーライターの妹・さとみが挑みます。現地で、ふたりが初めて仕掛けた赤外線カメラで捉えたユキヒョウの写真も掲載されています。

ユキヒョウを通して双子姉妹が知った、野生動物がくらす世界、そしてそこで生きる人々の暮らしは、どこか遠く離れた異世界ではなく、今まさに同じ時間が流れている世界だということを感じさせてくれます。(本館 花見)



『幻のユキヒョウ』
ユキヒョウ姉妹／著
(扶桑社)

489. 53 【南館所蔵】

司書のおすすめ



『パパラギ』
ツイアビ／著
岡崎 照男／訳
(学研プラス)
2021年
(児童書) 361. 5
【南館所蔵】

本書は、南の島サモアの族長ツイアビ氏が初めてヨーロッパを旅したときに感じた文明国の印象をまとめたものである。タイトルの「パパラギ」とは、サモアの言葉で「文明国に暮らす人々」のことを指す。

本書を読むと、ツイアビ氏がパパラギの暮らしに対して驚きを感じたことが伝わってくる。パパラギはせつせと家を建て、都市を作り、文明を築いている。ヨーロッパには、映画館、新聞、本、鉄道、電話といった南の島の暮らしにはない便利なものがあふれている。しかし、ツイアビ氏はそれらを礼賛することはない。むしろ便利になればなるほど、パパラギが失ってしまったものがたくさんあることに気づいている。

たとえば、常に時間は流れているはずなのに、パパラギは時計を見ては「時間がない」と焦り、「もっと時間があればいいのに」と不平不満を言う。ただ時の流れるままに今を楽しめばいいということを忘れてしまっている。そして、お金にやたらと執着して、自分よりも貧しい仲間がいても分け与えようという気持ちをなくしてしまっている。さらには、新聞や本に書かれた知識をため込んで、常に忙しく頭で考えることばかりしている。ただ身体と心で世界に触れて楽しむことができなくなってしまっている。

ツイアビ氏はこのようなパパラギの暮らしに疑問を投げかけ、南の島の人々に「いったいだれが私たちより豊かだろう」と問いかけている。

本書が書かれたのは今から100年も前のことだ。しかし、現代を生きる私たちが読んでもハッとさせられる部分も多い。ツイアビ氏の言葉には、本当の豊かさとは何なのだろうと、人々を立ち止まらせるだけの力がある。自分にとっての当たり前を疑い、時には振り返ることの大切さを伝えてくれる。(本館 福田)